



## 平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成22年8月5日

上場会社名 スガイ化学工業株式会社 上場取引所 大  
 コード番号 4120 URL <http://www.sugai-chem.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永岡 雅次  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 武田 晴夫 (TEL) 073 (422) 1171  
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月13日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第1四半期の業績（平成22年4月1日～平成22年6月30日）

(1) 経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	1,369	△12.6	116	—	71	—	25	—
22年3月期第1四半期	1,567	△6.6	△42	—	△30	—	△292	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第1四半期	1	83	—	—
22年3月期第1四半期	△21	31	—	—

### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円	百万円	円	%	円	銭	
23年3月期第1四半期	10,559		5,082		48.1	370	90	
22年3月期	10,989		5,128		46.7	374	28	

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 5,082百万円 22年3月期 5,128百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
22年3月期	—		0	00	4	00
23年3月期	—					
23年3月期(予想)			0	00	4	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

### 3. 平成23年3月期の業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期（累計）	3,200	△14.1	130	149.9	90	72.2	70	—	5	11
通期	8,100	0.8	400	136.8	300	45.0	120	—	8	76

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、[添付資料] P. 3 「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	13,730,000株	22年3月期	13,730,000株
23年3月期1Q	27,010株	22年3月期	27,010株
23年3月期1Q	13,702,990株	22年3月期1Q	13,704,585株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、[添付資料] P. 2 「1. 当四半期の業績等に関する定性的情報（3）業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. その他の情報 .....	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
4. 補足情報 .....	8

## 1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期会計期間の当社を取り巻く経済環境は、各国の景気浮揚策の効果により、個人消費や生産に持ち直しの動きが見られ、中国をはじめとするアジア経済は好調に推移しましたが、一部欧州諸国の財政危機に端を発する信用不安により景気の下振れ懸念があり、依然として先行き不透明で厳しい状況にあります。

このような状況の中で、国内売上高は、820百万円と前年同期(640百万円)に比べ、179百万円(28.1%)の増収となりました。これは、農薬中間物は減少しましたが、医薬中間物が大幅に増加し、機能的な中間物及び界面活性剤も堅調に推移したためです。

一方、輸出売上高は、549百万円と前年同期(926百万円)に比べ、377百万円(40.7%)の減収となりました。これは、医薬中間物及び農薬中間物がともに大幅に減少したためです。

この結果、総売上高は1,369百万円となり前年同期(1,567百万円)に比べ197百万円(12.6%)の減収となりました。また、輸出比率は40.1%(前年同期59.1%)となりました。

利益につきましては、為替の円高による影響はありましたが、固定費削減及びコストダウンに努めたことにより、営業利益は116百万円(前年同期営業損失42百万円)となりました。営業外損益では為替差損39百万円を計上したこともあり、経常利益は71百万円(前年同期経常損失30百万円)となりました。

特別損益は、特別損失として投資有価証券評価損39百万円(洗替え方式)を計上したこと等により、四半期純利益は25百万円(前年同期四半期純損失292百万円)となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ430百万円減少の10,559百万円となりました。これは主に、商品及び製品が316万円増加しましたが、現金及び預金が347百万円、及び受取手形及び売掛金が238百万円減少したことによるものです。

負債につきましては、前事業年度末に比べ384百万円減少の5,476百万円となりました。これは主に、借入金が206百万円、及び支払手形及び買掛金が147百万円減少したことによるものです。

また、純資産は前事業年度末に比べ46百万円減少の5,082百万円となり、自己資本比率は48.1%(前事業年度末46.7%)となりました。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、125百万円の収入となり、前年同期に比べ662百万円の収入の減少となりました。これは主に、前年同期の税引前四半期純損失から税引前四半期純利益に転じたことによる収入の増加がありましたが、売上債権の減少による収入の減少及び投資有価証券評価損が減少したことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、212百万円の支出となり、前年同期に比べ53百万円の支出の増加となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が増加したことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、251百万円の支出となり、前年同期に比べ467百万円の支出の減少となりました。これは主に、前年同期では短期借入金が500百万円の純減少となりましたが、当第1四半期会計期間では短期借入金の純増減がなかったことによるものです。

これらの結果、現金及び現金同等物の当第1四半期会計期間末残高は652百万円となり、前事業年度末に比べ347百万円減少しました。

### (3) 業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の業績予想につきましては、平成22年5月14日の決算発表時における業績予想から変更はありません。

## 2. その他の情報

### (1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

また、繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合は、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

### (2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

当第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。これによる損益に与える影響はありません。

### (3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	652,044	999,255
受取手形及び売掛金	1,922,314	2,160,690
商品及び製品	2,267,082	1,950,315
仕掛品	93,915	123,359
原材料及び貯蔵品	222,712	264,260
その他	24,891	24,584
貸倒引当金	△5,778	△6,507
流動資産合計	5,177,181	5,515,958
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,124,094	1,146,275
機械及び装置(純額)	1,579,188	1,628,297
土地	1,357,047	1,201,903
その他(純額)	584,930	667,762
有形固定資産合計	4,645,261	4,644,238
無形固定資産		
	5,817	5,817
投資その他の資産		
投資有価証券	673,512	763,224
その他	103,560	106,377
貸倒引当金	△46,137	△46,137
投資その他の資産合計	730,934	823,464
固定資産合計	5,382,013	5,473,521
資産合計	10,559,194	10,989,480
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	980,991	1,128,488
短期借入金	750,000	750,000
1年内返済予定の長期借入金	849,296	859,396
未払法人税等	1,727	15,377
賞与引当金	44,128	96,174
その他	597,782	554,182
流動負債合計	3,223,925	3,403,618
固定負債		
長期借入金	1,959,156	2,155,405
退職給付引当金	149,952	135,415
その他	143,662	166,318
固定負債合計	2,252,771	2,457,139
負債合計	5,476,697	5,860,758

(単位:千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,510,000	2,510,000
資本剰余金	2,016,543	2,016,543
利益剰余金	546,221	576,018
自己株式	△4,338	△4,338
株主資本合計	5,068,426	5,098,222
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	10,908	36,492
繰延ヘッジ損益	3,162	△5,993
評価・換算差額等合計	14,071	30,498
純資産合計	5,082,497	5,128,721
負債純資産合計	10,559,194	10,989,480

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	1,567,120	1,369,182
売上原価	1,364,065	998,268
売上総利益	203,055	370,914
販売費及び一般管理費		
発送運賃	29,535	19,355
従業員給料及び手当	75,338	81,437
賞与引当金繰入額	10,441	11,920
退職給付費用	21,660	21,716
役員退職慰労引当金繰入額	4,834	—
その他	103,289	119,569
販売費及び一般管理費合計	245,100	253,999
営業利益又は営業損失(△)	△42,045	116,915
営業外収益		
受取利息	82	14
受取配当金	12,604	14,056
為替差益	23,072	—
その他	1,548	1,700
営業外収益合計	37,306	15,770
営業外費用		
支払利息	18,359	14,289
為替差損	—	39,882
その他	6,977	7,098
営業外費用合計	25,336	61,270
経常利益又は経常損失(△)	△30,074	71,415
特別利益		
貸倒引当金戻入額	2,780	728
特別利益合計	2,780	728
特別損失		
固定資産除却損	3,070	5,953
投資有価証券評価損	260,307	39,764
特別損失合計	263,377	45,717
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△290,672	26,426
法人税、住民税及び事業税	1,849	1,849
法人税等調整額	△475	△438
法人税等合計	1,373	1,410
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△292,046	25,015



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△290,672	26,426
減価償却費	198,813	175,050
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,780	△728
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△39,396	△52,045
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△10,148	14,536
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	4,834	—
受取利息及び受取配当金	△12,686	△14,070
支払利息	18,359	14,289
為替差損益 (△は益)	△4,971	9,674
投資有価証券評価損益 (△は益)	260,307	39,764
固定資産除却損	3,070	5,953
売上債権の増減額 (△は増加)	920,726	238,376
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△245,335	△245,774
仕入債務の増減額 (△は減少)	△132,786	△147,497
その他	31,650	68,171
小計	698,985	132,125
利息及び配当金の受取額	12,665	14,065
補助金の受取額	100,000	—
利息の支払額	△15,425	△12,800
法人税等の支払額	△7,397	△7,397
営業活動によるキャッシュ・フロー	788,827	125,993
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△158,505	△215,215
投資有価証券の取得による支出	△5,042	—
その他	4,418	2,793
投資活動によるキャッシュ・フロー	△159,130	△212,422
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△500,000	—
長期借入金の返済による支出	△174,250	△206,349
配当金の支払額	△44,025	△44,758
その他	△18	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△718,293	△251,107
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,971	△9,674
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△83,624	△347,211
現金及び現金同等物の期首残高	578,352	999,255
現金及び現金同等物の四半期末残高	494,727	652,044

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## (生産、受注及び販売の状況)

当社は、単一セグメントであるため、製品の種類別ごとの生産、受注及び販売の状況を記載しております。

## ① 生産実績

当第1四半期累計期間における生産実績を製品の種類別に示すと、次のとおりであります。

区 分	前第1四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)		当第1四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
医薬中間物	105,008	6.6	215,604	12.9
農薬中間物	1,173,774	73.7	1,254,503	74.9
機能性中間物	213,921	13.4	72,316	4.3
界面活性剤	85,161	5.4	118,816	7.1
その他	14,199	0.9	13,759	0.8
合 計	1,592,065	100.0	1,675,001	100.0

## ② 受注状況

当社は受注見込による生産を行っているため、該当事項はありません。

## ③ 販売実績

当第1四半期累計期間における販売実績を製品の種類別に示すと、次のとおりであります。

区 分	前第1四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)		当第1四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
医薬中間物	389,543	24.9	293,703	21.4
農薬中間物	849,911	54.2	691,316	50.5
機能性中間物	201,830	12.9	240,715	17.6
界面活性剤	89,433	5.7	109,486	8.0
その他	36,401	2.3	33,960	2.5
合 計	1,567,120	100.0	1,369,182	100.0